

乗雲

寺報

第123号

R5/12/1 発行

1985/4 創刊

〒959-2646 新潟県
胎内市西栄町 2-8
TEL 0254-43-2419
FAX 0254-43-4560
編集人 広厳寺
住職 神田英俊

メール
otera@kogonji.jp

一者礼敬諸仏 二者称赞如来
三者広修供養 四者懺悔業障
五者随喜功德 六者請転法輪
七者請仏住世 八者常随仏学
九者恒順衆生 十者普皆回向
華嚴経普賢行願品（十者礼）

今年春に行われた大本山永平寺授戒会に引請師のお役を賜り一週間お勤めしてまいりましたが、右記はその折り、壇上礼や歎仏講式の中でお唱えする経文です。

一、仏様を礼拝し敬う。二、仏様のお徳を称赞する。三、広く心から仏様を供養する。四、過ちを悔い改める。五、功徳を積むことを共に喜ぶ。六、諸仏に教えを説いてくださるよう請い願う。七、仏様がいつもこの世に住して導いてくれることを願う。八、常に仏様に従って学ぶ。九、生きとし生けるものの皆を父母のように敬う。十、すべての功徳があま



大般若会での礼拝

ねく皆にいきわたるよう願う。華嚴経に説かれている普賢菩薩の十大願と言います。授戒会初日から四日間夕方に、「壇上礼・仏祖礼」と言う仏様に請い願う礼拝の行をいたしますが、その最初が「十者礼」です。

礼拝の行により自分の信心を浄めるとともに、未来永劫にわたる

まで十大願を心に念じながら、一切の諸仏を供養恭敬する。華嚴経ではこの「行」と「願」を身の行いと心の願いとし、ひたすらの精進努力によつて願いが叶うものとしている。

私たちはこの「十者礼」の誓願を実践し、常に仏様と共にあるのだという思いをもつて日々の生活をしていくことができれば、人を傷ついたり争ったりすることもなくなり、穏やかな心持ちで暮らしていけるのではないのでしょうか。

「耳に聴き 心に念い 身に修せば いつか悟りに 入相の鐘」の古歌があります。一人ひとりの行願の功徳がまわりの人たちにも影響を与え、その思いや願いがどんどん広がっていく、いつか悟りの世界が現前することになります。

菩提寺はじめ各寺院にお参りするときには信心よりご本尊様仏様に手を合わせて十大願（十者礼）を念じ、身心に仏様の心を現しながら、この世のすべての生きとし生けるものの皆なの平穏無事をお祈りいたしますしよ。

令和六年 年回忌表

「回忌」	「没年」
一周忌	令和五年
三回忌	令和四年
七回忌	平成三十年
十三回忌	平成二十四年
十七回忌	平成二十年
二十三回忌	平成十四年
二十七回忌	平成十年
三十三回忌	平成四年
五十回忌	昭和五十年
百回忌	大正十四年

▼令和六年度(2024)の年回忌表です。

当寺では個人情報保護の観点から本堂には張り出ししていません。正當各家には来年度分として十一月に通知していますのでご確認ください。▼日曜・祝日のご法事の申し込みはお早めにお願ひいたします。▼「周」は「めぐる」ことを意味する言葉で、亡くなつてからちょうど一めぐりした翌年のその日を一周忌と呼ぶ。回忌とは亡くなられた日を最初の忌日と考えて、三回目の忌日が「三回忌」となる。以降は九六年目が七回忌、九十二年目が十三回忌となる。

僧階昇等並びに恩衣特許

任 大教師

(令和四年六月二日付)

可被着赤紫恩衣

(令和四年七月二十六日付)

昨年、十九世住職神田英俊事、右記の通り曹洞宗管長より、僧階昇等（大教師）並びに赤紫恩衣の被着が許可されました。



令和五年 高僧大師報恩授戒会 神田英俊師引請師記念

この事につきまして、本年六月十日に厳修されました当寺大般若法会に際し、この僧階昇等並びに可被着の「赤紫恩衣」で法要の導師をお勤め致しましたところ、参列のお檀家様から後日法衣について問い合わせがありました。遅くなりましたがここで報告いたします。なお、「僧侶の衣の色」についてはホームページの「仏事の

広厳寺研修旅行ご案内

仙台の名刹輪王寺参拝と

日本三景松島・秋保温泉の旅

令和6年5月23日（木）～24日（金）（一泊二日）

旅費 4万3千円

- ・物価高で旅費も値上がりしていますが、当寺では旅行支援割引を実施し、参加される方には旅行当日3000円のキャッシュバックがあります。
- ・次号にて詳細掲載します。

知識64」で詳しく掲載していますのでご覧ください。

仏事の知識 ↓



訃報 並槻 佐久間清氏逝去

九月二十八日（享年八十六）長年当寺筆頭総代として寺の護持発展に尽力されました。特に平成二十二年から四年間第四宗務所副護持会長として宗務所行政にもご指導いただきました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

菩提寺とは

菩提寺（ぼだいじ）とは、先祖代々のお墓があったり、寺の位牌堂には各家のご先祖様がお祀りしてあり、宗派（当寺は曹洞宗）の儀式作法により葬儀や法要を司るお寺のことを言います。檀家とは、そのお寺に属し、年間護持費や布施をすることによりお寺を支えてくれる家のことです。寺檀和合してお寺は存在します。本来仏教儀式としての葬儀は、僧侶が故人の冥福を祈り、遺族が故人との最後のお別れをするもので、読経、お焼香、お戒名授与等の様々な儀式を行い納骨に至るものです。

最近では信仰心が薄れ、宗教離れもあり、お寺が関係しない公営や民間の霊園等にお墓を持つ人が増えてきました。あるとき、葬儀社からの問い合わせで、『檀家さんではないですが、今亡くなられた方がいます。喪主の希望で直葬（火葬式）で、火葬後、葬儀もお戒名もない、読経もなしで永代墓に入りたい』との連絡がありました。金銭面

の余裕がないこともあるでしょうが、『当寺では菩提寺の宗旨（曹洞宗）に帰依し、仏弟子としてのお戒名を授けて懇ろに葬儀を執行します』と伝えお断りしました。

当寺の永代墓（寂光塔）の申込みに当たっては、墓地使用規定により没後に必ず葬儀を執行し、仏弟子となってお戒名を授与してから納骨します。

昨今はお墓の多様化により、公営や民間でも樹木葬や合祀墓と言った誰でも納骨できるお墓が建立されています。その新たな形式のお墓が宗教儀式のない、単なるお骨の最終処分場とならないよう危惧しています。また、集落に墓地がある檀家さんも同様です。菩提寺の住職が必ず仏弟子としての葬儀式を執行し納骨します。菩提寺としては、連絡もなしで直葬で納骨することは認めません。また、葬儀を出さなければ菩提寺の過去帳には記載されませんし、お位牌もなしで、先祖としての供養を受けることもできません。

□月忌米・護持費納入のお願い

十一月に担当役員さんより納付書をお届けいたしました。金額を確認の上役員さん宅へ届けるか、直接お寺へお持ちください。また納付書が郵送されている方は同封郵便振替用紙にてお振り込みいただくか、お寺へお持ちになっても構いません。なお、昨年までは振り込み確認後に領収書を発行していましたが、今回より振替払込受領証をもって領収書の替わりとさせていただきます。よろしくお願いたします。

□来年度年回忌のご案内

十一月に来年度年回忌に当たられてはいる各家にはそれぞれ郵送にてご案内通知を送付いたしましたのでご確認願います。なお、通知書記載の十一月、十二月中の年忌については来年のことですのでお間違えのないようお願いいたします。年忌読経供養につきましては日時を検討してお早めにお申し込みください。特に土日は混み合います。都合で命日より遅れても差し支えありません。

工事報告

▼六月末を以て貸し地（当寺所有宅地）の一部が返還になり、今後参拝者駐車場として使用するためお盆過ぎから工事を始めていましたが、十月下旬に完了いたしました。

施工業者 小野工務店



寺町 返還跡地（水沢様向かい）

境内整備

▼八月十七日 墓地 花、ぼんぼり

片付け クリーンセンター

▼八月十七日 柴橋川 寺側堤防

草刈り シルバー人材

▼八月十八日 除草剤散布（墓地）

▼九月一日 除草剤散布（墓地）

住職

●瑩山禅師七百回大遠忌

予修法要（教区主催）

十月二日午後三時より西条太總寺様では明年七百回忌をお迎えする瑩山禅師様の遠忌法要併せて両祖忌法要が厳修された。教区寺院及び檀信徒が参加し、両祖様をお偲びしお焼香された。

●應菴寺晋山結制式修行

村上市福田、應菴寺様では十月二十一日二十二日の両日、住職稲垣裕明師の晋山結制式が修行され二十七世の法灯を継がれた。併せて先住二十六世稲垣了禅大和尚の七回忌法要が務められた。本寺は村上市平林千眼寺様（住職神田秀孝師・先住忌導師）、村上市門前、耕雲寺住職菊地光彦老師が西堂を務められた。

仏事の知識

棺掛け



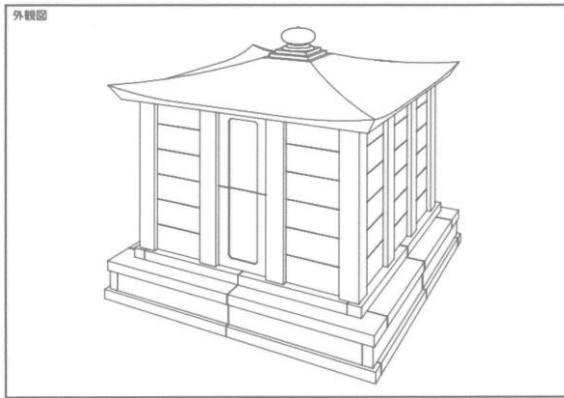
棺掛け（かんかけ）は棺覆い（かんおい）とも言い、ご遺体を納めるための棺の上に掛ける布のことです。本来は僧侶が着用している袈裟を用いる。仏式の葬儀では、故人は出家して剃髪、授戒、お戒名が授与され、仏弟子として僧の身となつて黄泉へ旅立つので棺を袈裟で覆う。実際に身に着けることはできないので棺の上に掛けるようにしている。

この棺掛けは宗教によっても違いがあり、神式では死を穢れとするため白い布を掛けて死を清める意味がある。キリスト教では十字架がデザインされた黒い布や単なる黒布を用いたりする。最近では布張り棺や彫刻が施された高価な装飾棺も出回っており、見せるための棺になり、葬儀社が棺掛けをしないで済みますこともあるが、本来の棺掛けの意味からすればどんな棺であつても絶対必要なものです。ちなみに当寺では先代住職の着用した金欄袈裟を棺掛けとしている。



涅槃浄苑（個人集合墓）

現在計画中のお墓は、「個人集合型合葬墓」と言い、①永代供養を希望の方、②檀家であるが将来が不安でお墓建立を躊躇っている方③新規檀家登録される方でも個人のお墓を持たなくても自分の家のお墓として使用できます。その後永代供養に変更も可能です。



近年は、一、経済的にお墓を維持するのが難しい、二、子どもが地元を離れているのでお墓を建てても継承ができない。三、単身で身寄りがなく後継者がいない等

の悩みや不安を抱えている人が多くなっています。この合葬（集合）墓は骨つぼで安置します。尚、永代供養の方は三十三回忌までは安置しその後合祀供養になります。

令和六年度建立予定です。詳細はお寺へお尋ねください。

本堂照明器具の取替え

本堂再建（平成二年）から取り付けてあった照明器具をこの度老朽化のためLED照明に取替えました。 工事 中村電気

最新のLEDとても明るくなりました。



お寺からのお願い

▼各家位牌壇のロウソク、お線香について、ロウソクはお寺で用意したミニロウソクをご使用ください。尚、点灯し、お参りが済みましたら火災予防の為、必ず火を消してください。点したお線香は香炉から灰がこぼれないように真っ直ぐに立てるようにお願いします。

▼お墓の自然ゴミ（枯れ枝、枯れ草、枯れたお供えのお花等）は、お寺で業者に依頼して処分しますが、それ以外のお花を包んであった紙、お墓掃除のたわし、雑巾、洗剤容器、ビニール袋類は捨てないでください。各自で持ち帰って町内ゴミの日に出してください。

▼古い塔婆は、参道中程に「古塔婆入れ」がありますのでご利用ください。

▼あさがおぼんぼりは八月十三日の夕、暗くなつてから精霊様をお迎えするための灯りとして点けるものです。昨今、日中明るいうちからのお参りが多くなったのでぼんぼりは不要かも知れません。最近では立っていないお家が増えてきています。

寂光塔（永代供養墓地）

一人暮らしの方、お墓継承にお悩みの方、お寺が永代にわたり供養いたします。広厳寺ホームページにも詳細が掲載されています。



寂光塔（永代供養合同墓所）

動物供養塔（ペット墓地）

動物のお骨を埋葬いたします。檀家さん以外でも納骨供養できます。



動物供養塔（ペットのお墓）

